

東京港シップウォッチング

2020.7.29 池田良穂

7月27日に、東京でシップ・オブ・ザ・イヤーの選考委員会が開かれることとなり、オンライン会議との併用とされましたが、選考委員長としては全体を取り仕切る必要もあり、会議室での選考委員会に出席することにしました。結果は、本日プレスリリースされましたが、シップ・オブ・ザ・イヤー2019には、バッテリー駆動でかつ自立運航機能を備えた、大島造船建造の送迎フェリー「e-Oshima」が、小型客船部門賞には瀬戸内海汽船の「シーパセオ」が選ばれました。

さて、現役時代は、月に数回は東京出張がありましたが、定年後はその数も大幅に減り、久々の東京行きでした。そこで選考委員会当日を挟んだ前後泊として、東京港でのシップウォッチングを楽しむことにし、宿は竹芝ふ頭に面した「アジュール竹芝」としました。このホテルの窓からは東海汽船の乗場が眼下に見え、シップウォッチングには最適な宿なのです。結構いい値段のホテルですが、新型コロナの影響なのか、格安のプランがあって、2泊で8000円ほどという破格の値段で予約ができました。

これまで東京港でのシップウォッチングは、もっぱら遊覧船やレストラン船に乗って、船上から船を見ることが多かったのですが、ずいぶん昔に、故小島大さんからレインボーブリッジから撮影した客船の写真を何枚もいただいたことを思い出し、今回、はじめてレインボーブリッジからのシップウォッチングを敢行することにしました。

宿泊したホテルのすぐ前にゆりかもめの駅があり、そこから2駅の芝浦ふ頭で下車すると、徒歩5分ほどでレインボーブリッジの徒歩客用通路へのゲートがあります。ここから、9時から20時半まで無料でレインボーブリッジに上がることができます。橋には南側と北側に歩道があり、台場まで徒歩で行くことができます。

日曜日の朝に、関西空港から飛行機で羽田に移動しました。梅雨はまだ明けておらず大阪は雨でしたが、飛行機が太平洋にでると雲はなくなり、真っ青な海が眼下に広がっていました。たしかに、日本の南には夏の太平洋高気圧が張り出してきているのを実感しました。機内アナウンスも「羽田は晴れ」とのことで、梅雨明けかと期待も膨らみました。羽田空港への着陸時にはディズニーランドや有明のフェリー・RORO船埠頭もくっきりと見えました。

しかし、羽田空港に着くと同時に激しい雨が降り出しました。南の太平洋高気圧と梅雨前線の境目が押したり引いたりして、東京は晴れ間と突然の雨がくるくると目まぐるしく変わる天気でした。

この日は、15時に「おがさわら丸」が到着し、東海汽船の新造船「さるびあ丸」も19時に竹芝に到着する予定。さらに、18時過ぎからは伊豆諸島からジェットフォイルが続々と戻ってくるはずですが、これを一網打尽にカメラに収めようと、レインボーブリッジの上で待機しました。

翌朝午前中には、再びレインボーブリッジに上り、南通路でお台場まで行き、復路は北通路で戻りました。

さらに午後の選考委員会の後、18時過ぎには再び橋に上り、ジェットフォイルとさるびあ丸の「顔写真」を撮影しました。



飛行機の窓からディズニーランドが見えました。



有明のフェリー・RORO 埠頭もくっきりと見えました。



レインボーブリッジの南側通路から見たお台場です。



レインボーブリッジの歩道には、ところどころにベンチも備えた展望スポットもあります。



15時に「おがさわら丸」の入港時には激しい雨に襲われました。橋の上は遮蔽物が少なく、ずぶぬれに!!



着替えるためにホテルにチェックインすると、窓から「おがさわら丸」が荷役しているのが見えました。



乗客を降ろすと「おがさわら丸」は、竹芝を離れて、芝浦ふ頭にシフトしていきました。



急速に晴れ間が広がってきました。私も、濡れた服を着替えてから、再び橋に戻りました。



遊覧船「御座船」が、レインボーブリッジを通過して港外に向かっていきました。



18 時台になるとジェットフォイルが続々と伊豆諸島から東京港に戻ってきます。まず、セブンアイランド大漁が戻ってきました。



続いて、セブンアイランド友が戻ってきました。



新造船「セブンアイランド結」も戻ってきました。



しんがりはセブンアイランド愛でした。



各ジェットフォイルは竹芝で旅客を降ろすと、再び橋の下に姿を現し、しばらく停止して、前後の水中翼を挙げてから、寝床である東海汽船の芝浦営業所の棧橋へゆっくりと向かいます。



日没直前に「さるびあ丸」と初対面できました。竹芝ふ頭には 19 時着で、当日の日没は 18 時 50 分。橋のほうは少しは光はよさそうと橋で待機しました。



ホテルの窓から荷役中の「さるびあ丸」が見えました。



夜 10 時に「さるびあ丸」が、「橘丸」を横を出港していきました。



翌朝、7 時過ぎからジェットフォイルが寝床から竹芝にやってきて、伊豆諸島へと出港していきます。



朝 9 時から、再び、レインボーブリッジに上りました。お目当ては並ぶ RORO 貨物船と、コンテナ船です。



パンスターの RORO 船の姿もありました。



ONE のマゼンダ色の大型コンテナ船も見えました。



北側の歩道からは「おがさわら丸」と東京タワーがファインダーに収まりました。

南歩道でお台場付近まで行き、北歩道に戻ると、ほぼ 1 時間強。つかれました!!



夕方に「顔写真」を撮るために、再び、橋に上りました。ジェットフォイルの「セブンアイランド大漁」の顔写真です。真上の撮影ポイントを予測するのが結構大変でした。



日没直前に橋下を通過した「さるびあ丸」のデリックの先端には煌々と白灯が灯されていました。



大阪へは新幹線で戻りましたが、途中下車して熱海で初島航路の「イルドバカンス三世号」の出港をカメラに収めました。



熱海港に停泊する「イルドバカンス プレミア」の姿です。



熱海港の遊覧船「サン レモ」も停泊していました。